

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部一年次生 安部綾夏

## 1. はじめに

この度、本学の国際交流基金を受け、2023年3月6日から2023年3月16日までの期間、オーストラリアのTAFE Kingscliff校にて薬学および語学研修を行いましたので、報告いたします。私は現時点での英語力が実際にどの程度通用するのか確かめること、四技能の中でもスピーキング力を向上すること、オーストラリアの文化に触れて視野を広げ自国以外の薬剤師の仕事を知ることがを目的に参加しました。

## 2. TAFE での生活

### 【English Class】

午前の English Class では、オーストラリアの文化や地理、歴史について学び、また英語でたくさんコミュニケーションをとりました。授業は参加型で板書はほとんどなく、対話で進められたので、日本では身につけにくいスピーキング力やリスニング力が鍛えられました。初めに、オーストラリアで過ごす期間中に支障をきたさないようにハンディーフレーズを教わり、さらにオーストラリアで過ごす上で役立つ言葉や知識など実践的な英語を習いました。そこで短縮系の表現などを知ることができ、聞き取りに役立ちました。毎回の授業では新しく学んだ単語を次の日までに覚えてきて、二チームに分かれて早押し対決などをしました。ゲーム形式で英単語を覚えられて非常に楽しかったです。グループワークが多く、英語を使って参加者の方々と話すよい機会になりました。最後の授業では、それぞれのホストファミリーへの手紙を作成しました。文章を書くとき思うように言葉が出てこなかったり、英単語を知らなかったりしたので、日本に戻ってから文章力を上げていきたいと思いました。

### 【Pharmacy Class】

午後は Pharmacy Class を受けました。オーストラリアの薬局と日本の薬局では類似点が多いものの、システムが少々異なることを知りました。日本における薬局とドラッグストアは日用品の販売の有無の点など、別物のように思いますが、オーストラリアでは薬局と聞いて一般に想像されるのはドラッグストアであることに衝撃を受けました。また薬剤師だけでなく薬剤師アシスタントが働いていて、彼らは TAFE など職業訓練学校で学ぶ必要があ

ります。薬剤師にはより専門性が求められているとわかりました。後半の授業で様々なサプリメントを試食しました。どれも比較的口にしやすい、消費者のことが考えられていると感じました。オーストラリアの薬剤師は、医薬品が多く並ぶ店の奥に入ってきたお客に対して、軽くカウンセリングを行い、その人に合わせて市販薬やサプリメントを提案する業務を請け負っていました。最近ではアプリでお薬を注文することも浸透しつつあるようで、在宅医療よりもシフトしつつあるのかなと考えました。

### 【Griffith University】

Excursion でグリフィス大学の薬学部を見学に行きました。普段実習に使われている教室を見学させていただいたほか、最新のテクノロジーを見せていただきました。頭にヘルメットのようなものを装着すると視界にコンピューターの立体空間が広がるといったもので、立体空間に浮かぶものを掴んだり、ボタンを押したり、コンピューターのキーボードやマウスを使わない画期的なものでした。技術の発展につれて私たちの生活も仕事も大きく変容していくのだと実感しました。印象的だったのは薬の分包です。高齢者やお薬を多く飲まれる方には、一週間分の朝・昼・晩・寝る前を縦軸と横軸でマス目状に示した容器に、お薬（体験実習ではお菓子）を用いて分包を体験しました。高齢者にとっては薬を押し出しづらいこともあることから、専用の器具が開発されていたりしました。



### 【Aboriginal】

オーストラリアの先住民であるアボリジニの方々から、彼らの文化や伝統について教わりました。植物に関する知識が豊富で、どの木の実を食べられるか、木の皮を生活にどのように役立てていたかなど、興味深いお話を聞くことができました。木の実は実際に食べてみましたが、不味くはないもののあまり美味しくはありませんでした。またアボリジニの伝統は書物ではなく言葉で受け継がれてきたそうで驚きました。

### 3. ホームステイにて

私のホストファミリーは 15 歳と 18 歳の子がいる四人家族でした。初めてのホームステイで緊張していましたが、私は先輩とホームステイ先が一緒だったので心強かったです。ホストファミリーも優しく、くつろいで過ごすことができました。最初は慣れない英語を話すにも聞き取るにも苦労していましたが、わからないときはゆっくり話したり、言い回しを変えてくれたりしてもらえたので、少しずつ慣れていきました。TAFE から徒歩の距離にホームステイ先があったので、授業が終わると坂を上って帰っていました。近くに海があり、周りに小さなショッピングタウンがあって、よく先輩と一緒に行きました。オーストラリアの海はとても綺麗で、砂浜の砂もサラサラで心地よかったです。数日たった頃、ホストファミリーに君たち同士でも英語で会話したらどうだと提案され、できるだけ英語で会話をするのは楽しかったです。ホストマザーと飼い犬とビーチへ行ったり、初めてラム肉を食べたり、ショッピングに行ったり、泳いだり、たくさんの思い出ができました。

### 4. 最後に

今回、オーストラリア研修に参加させていただきありがとうございました。

初めてのホームステイ、初めてのオーストラリアで、とても緊張していましたが、多くの人に支えられ、学びも得て、楽しい充実した時間を過ごすことができました。最初は喋ったことのないばかりで不安でしたが、みんな優しく、いろんな方と仲良くなれて嬉しかったです。過ごしているあいだは時間が長く感じましたが、終わってみるとあっという間で、新たに経験することが盛り込まれていたなと思いました。英語力については、ネイティブの会話にはまだまだついていけないレベルじゃないことを自覚したので、これからの大学生活の中で伸ばしていきたいと思いました。また海外の薬学部を見学できたことは、日本に帰って薬学を学ぶ上でのモチベーションに繋がりました。今回のオーストラリア研修での貴重な経験を大切にして、今後の自分の成長に繋げていこうと思います。



